

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

20日から順法に突入

10万人の首を切るための 「61・11ダイ改」攻撃に実力反撃へ

動労千葉は十月八日、第五回執行委員会を開催し、十月末闘争を中心とした正念場中の正念場の取り組みについて意志統一をはかり、十五日の第六回拡大執行委員会で次のとおり伝達した。

いまこそ、反撃のときだ！

十月十日、国労臨時大会は、「共同宣言」路線を生産点、とりわけ「人活」の自主的・創意的な闘いと、何よりも動労千葉の闘いの波及によって完全に粉碎し、六本木執行部を発足させ反撃の第一歩を切り拓いた。

偉大な勝利は「国労の路線転換に期待」した中曽根の思惑をも見事にふつとばした。

当局のカサにかかった攻撃に耐え、怒り、必死の国鉄労働者の決起がついにさまざまな反動のうち勝ち、情勢を動かしたのだ。

国労臨大の勝利を引き継ぐものとして「10・12国会闘争」は清水谷公園に国労組合員を先頭に一五五〇名が結集し闘いぬかれた。

中曽根・杉浦は「六一・一ダイ改」で新体制への移行を完了させ、労働組合の抵抗・反撃をおさえこみ、強行実施せんとしている。

十月末闘争は決定的に重要となっている。

当面する取り組み
— 10月20日以降戦術強化 —

- (1) 十一月以降の大反動攻撃
 - ① 四万四千人の主要員合理化で八万二千の「余剰人員」が生まれ、五万五千が「人活」にぶちこまれる。

② 第二次広域配転

九月二〇日現在、一〇七五名応募

③ 組織攻撃の激化

「技能協」を利用した当局による脱退策動

(2) 団交拒否・形骸化

(3) 最大の問題点—運転保安無視

何よりも当局の姿勢は国鉄労働者の一切の発言・要求すら認めようとしていない。

「六一・一ダイ改」が強行されれば職場は地獄と化す。今、問われていることは、十万人の首を切るための

「六一・一ダイ改」攻撃に対し実力反撃に起つこと、それ以外に一切の展望はありえない。

十月末闘争の具体的戦術について

(1) 十月十三日より

- ① 組織強化・決起体制へ全組織をあげたオルグ体制を確立する。
- ② 徹底した宣伝強化する。

(2) 十月二〇日より

- ・ 始発時より当分の間
- ・ 全組合員を対象とする順法闘争実施

(3) 動員体制の確立

- ① 10・26 三里塚現地総決起集会
- ② 10・29 総評統一行動・日比谷野音
- ③ 10・30 国会闘争・清水谷公園
- ④ 11・3 動労千葉団結祭・弁天小

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！